

令和4(2022)年度 JA湖東 農談会資料

開催日 令和4年12月2日(金)・5日(月)・6日(火)・7日(水)
8日(木)の5日間
時 間 19:00から
場 所 本所 2階会議室 / 愛東支所 2階会議室

はじめに

令和4年産米の作況については、全国で100、滋賀県は101（平年並み）となり一定の収量は確保できたものの個人により感じ方には差異があります。

令和4年の農業をとりまく情勢は、前年のコロナ禍による米価下落を受け、主食用米の減産に迫られました。

水稻については、JA湖東でも先行きが不透明な中、農家所得確保の観点から飼料用米の取扱いをカントリーエレベーターで行いました。

小麦については、長年にわたり生産をいただいた「農林61号」から実需評価が高く収量の向上が見込まれる「びわほなみ」への生産に切り替えをお願いしました。これは収量の増加を図ることで農業所得の向上につなげるのが目的です。

小麦跡の水田の有効活用で取り組んでいただいている白大豆については、収量と品質向上対策を実施しました。

地域農業を担っていただく農家の高齢化が進み後継者対策は地域農業の持続的な発展のために喫緊の課題となっています。

なお、ウクライナ情勢による肥料価格の高騰は深刻であり高騰対策についても対応する必要があります。

令和4年産米の振り返り

単位：袋(30kg)

令和4. 11. 14 現在

品 種 及 び 区 分	地場個体検査				カントリー (概算値)	品種合計	令和4年産 個体検査	令和3年産 個体検査	令和4年産 滋賀県内参考
	1等	2等	3等	計			1等比率	1等比率	1等比率
み ず か が み	11,702	1,321	50	13,073	6,200	19,273	89.5%	93.9%	88.4%
コ シ ヒ カ リ	10,252	9,124	137	19,513	16,490	36,003	52.4%	76.2%	57.8%
キ ヌ ヒ カ リ	4,771	7,687	682	13,140	11,130	24,270	36.3%	75.4%	43.9%
秋 の 詩	3,351	315	0	3,666	6,190	9,856	91.4%	54.0%	90.7%
日 本 晴	1,358	464	0	1,822		1,822	74.5%	39.9%	79.3%
そ の 他 品 種	2,517	1,359	0	3,876		3,876	64.9%	81.4%	85.1%
うるち米合計	33,951	20,270	869	55,090	40,010	95,100	61.3%	77.5%	67.7%
滋賀羽二重糯	0	444	81	525		525	0.0%	3.5%	
総 合 計	33,951	20,714	950	55,615	40,010	95,625	60.7%	65.0%	
令和4年集荷目標						105,000	計画対比 %		91.1%

* 上記の検査数量に相対取引及び加工米・飼料用米は含まれていません。

◆地場個体検査、地区別2等以下の主な格付理由(うるち玄米) (％)

地区名	令和4年産	青未熟	乳白米	胴割米	カメムシ	もみ混入	その他 (死米他)	令和3年産
	1等比率							1等比率
東押立	59.7	2.0	27.1	4.4	6.5	0.3	0.0	72.6
西押立	57.6	5.8	28.3	1.1	6.1	1.1	0.0	78.4
豊棕	56.6	7.1	21.1	6.3	8.5	0.4	0.0	72.7
角井	60.7	3.5	19.4	2.7	13.7	0.0	0.0	84.6
西小棕	78.1	0.0	12.3	3.5	6.1	0.0	0.0	72.9

令和4年産米の収量及び品質について

収量

「コシヒカリ」では、倒伏したほ場が多く見られ登熟不足による収量の減収がみられました。「みずかがみ」・「キヌヒカリ」については、平年並みからやや多い状況となりました。「秋の詩」については、平年並みとなりました。

品質

「コシヒカリ」・「キヌヒカリ」において成熟期の寡照と異常高温により乳白粒が多発しました。梅雨明けが早かったものの7月中旬に雨の日が続き、7月下旬から異常高温が連日続きました。この時期は、稲は生殖成長期となり、米の収量や品質を決める大事な時期となりますが、乳白粒が発生しやすい気象条件となっていました。

→このことで地場検査において、**乳白粒の発生量が多く**、一部にいもち病による死米や胴割れなどの被害粒も見られ格付け等級が下がり品質が大きく低下しました。

特に「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」で乳白米の発生が顕著に見られ、一方「みずかがみ」、「秋の詩」については、整粒歩合が高く1等比率も高くなりました。

乳白粒になる原因

夜温の上昇は、稲の呼吸作用を増加させ日中に生成したデンプンが呼吸で消費され穂や根に送り込む量が減少するため登熟歩合が低下し乳白粒の発生が多くなります。人間が熱帯夜で睡眠不足になると体力を消耗するのと同様に、コメも暑さにさらされると品質が低下します。

令和5年産米への対策について（技術的対策①）

1. やっぱり基本は土づくり

「かいどーくん」、「堆肥としての鶏糞」、「ミネカル」などの継続使用と「秋鋤」による地力減退防止・天候不順への対策を図りましょう。

2. 適期の移植

特にキヌヒカリは5月中旬植えすることにより高温障害を回避し、乳白粒の発生を抑えましょう。

3. けい酸加里プレミア34の施用

「ケイ酸」と「加里」を投入することで高温対策・根張向上による倒伏軽減、日照不足低温時の登熟不良対策、増収、等級向上、乳白粒対策

4. 作期分散によるリスク分散

早生（みずかがみ・コシヒカリ・キヌヒカリ） **6割** 中生（秋の詩） **4割**

令和5年産米への対策について（技術的対策②）

5. あと一手間で1等米！！

地場個体検査で見られる残念なことは『モミ混入』です。粳摺り機の調整（粳摺りロールの間隔・揺動板の調節）に注意しましょう。

『胴割米』防止は、刈取り前、出来る限り圃場の落水を遅らせる、刈取後高水分時は可能な限りゆっくりと乾燥し、極端な早刈り及び、刈遅れは品質低下の原因になりますのでご注意願います。

6. 乾燥は適正水分で！！

16%を超える玄米が多く見られます。乾燥機の水分計を頼りにせず毎年点検された水分計で最終確認するようご注意願います。

基本はやっぱり、土づくり！！

ＪＡ湖東がお勧めする土づくり資材



かいどーくん

基準量：100kg/10a

＜溶性リン酸・苦土・吸収効率の高いけい酸・アルカリ・鉄分をバランスよく含む総合的なＪＡ湖東オリジナル土づくり肥料！＞



砂状ミネカル

基準量：200kg/10a

酸性改良とミネラル成分が補給でき、秋落ち水田の改良に役立つ肥料です！



ペレットけいふん

基準量：180kg/10a

稲ワラなどの有機物の鋤込みと合わせて、堆肥質の投入による土づくり効果を狙う。



けい酸加里プレミア34

基準量：秋春 40kg/10a

追肥 20～40kg/10a

吸収効率の高いけい酸と加里の補給に特化した肥料！

ケイ酸とカリを補うことで収量・品質の向上が期待できます。

特に「乳白粒対策」にご活用下さい。

ケイ酸資材の施用による反収・品質の結果について

	区分		品種	土づくり資材名	基肥名	けい酸資材	穂肥名	田植日	中干期間	けい酸資材投入日	穂肥施用日	収穫日	反収(kg)	反収(俵)	慣行区反収(俵)	平年反収(俵)農家報告	等級	備考
1	東押立地区	試験区	コシヒカリ	かいどーくん 100kg/10a	LPSS-D80 50kg/10a	けい酸資材プレミアム ア34	無し	4月30日	6/15から6/24	6月6日	無し	8月29日	558	9.3	8.8	8.6	1	
2		試験区	キヌヒカリ	かいどーくん 100kg/10a	ハーフゆうき 35kg/10a	けい酸資材プレミアム ア34	ハーフゆうき 40kg/10a	5月15日	6/12から6/25	6月25日	7月8日	9月5日	630	10.5	8.9	9.3	2	
3	西押立地区	試験区	コシヒカリ	かいどーくん 100kg/10a	楽すけ 60kg /10a	けい酸資材プレミアム ア34	無し	5月3日	6/12から7/6	6月1日	無し	8月30日	540	9	8.6	9	1	
4		試験区	キヌヒカリ	かいどーくん 100kg/10a	すご稲 (早生) 40kg/10a	けい酸資材プレミアム ア34	無し	5月14日	6/11から6/18	6月11日	無し	9月4日	500	8.3	8.2		2	
5	豊稜地区	試験区	コシヒカリ	無し	LPSS-D80 40kg/10a	けい酸資材プレミアム ア34	NK-C12 16 kg/10a	5月8日		6月17日	7月11日	8月29日	550	9.1	8.3	8.5	2	
6		試験区	キヌヒカリ	無し	まかせな彩 30 kg/10a	けい酸資材プレミアム ア34	まかせな彩 25kg/10a	5月14日	6/3から6/13	6月15日	7月6日	9月9日	440	7.3	9.5	8.7	1	穂いもちが発生
7	角井地区	試験区	コシヒカリ	かいどーくん 100kg/10a	LPSS-D80 50kg/10a	けい酸資材プレミアム ア34	無し	5月4日		6月10日	無し	9月3日	384	6.4	8.8		1	
8		試験区	キヌヒカリ	かいどーくん 100kg/10a	まかせな彩 30 kg/10a	けい酸資材プレミアム ア34	まかせな彩 kg/10a	5月19日	7/2から7/18	4月16日	7月18日	9月6日	594	9.9	10	8.5-9	1	
9	西小稜地区	試験区	コシヒカリ	無し	まかせな彩 25 kg/10a	けい酸資材プレミアム ア34	まかせな彩 20kg/10a	5月4日	6/21から6/25	4月25日	7月11日	8月29日	627	10.4	8.25	7.5	2	
10		試験区	キヌヒカリ	かいどーくん 100kg/10a	すご稲 (早生) 40kg/10a	けい酸資材プレミアム ア34	化成肥料26kg /10a	5月5日	6/14から6/24	7月3日	7月31日	9月11日	412	6.8	9.2	7	出荷なし	

令和5年産米出荷条件と奨励措置・施設の対応

品 種	生産基準					出荷の形態			加算金	施設の利用				
	栽培履歴書の提出	もみ種の更新	土づくり資材の施用	環境こだわり基準	マルチサポート等の施用	個体出荷	カントリー	玄米ばら	全農JA米規格に該当 出荷時加算	品種	育苗センター			
									対象等級は 1等～3等 (単位：円/60kg)		出芽	緑化	硬化	密苗 ^(出芽)
みずかがみ	◎	◎	◎	◎		○	○	○	+330	みずかがみ	○	○	○	×
コシヒカリ	◎	◎	○		◎	○	○	○		コシヒカリ	○	○	○	×
キヌヒカリ	◎	◎	○			○	○	○		キヌヒカリ	○	○	○	○
秋の詩	◎	◎	○			○	○	○		秋の詩	○	○	○	×
日本晴	◎	◎	○			○	×	○		日本晴	○	×	×	×
玉栄	◎	◎	○			○	×	○						
飼料用米 ゆめおうみ	◎	○	○			×	○注	×		ゆめおうみ	○	×	×	×
その他 品種	◎	◎	○			○	×	×	+330	その他 品種	×	×	×	×
滋賀羽二重糯	◎	◎	○			○	×	×		滋賀羽二重糯	○	×	×	×

◎必須 ○推獎

○可能 ×不可

○は取扱 ×は扱わない

* 上記の必須項目を確認できない場合は施設の利用をお断りすることがありますのでご注意ください。

○注 新たに個人バラフレコン出荷（主食用・飼料用米）をされる方は、J Aまでお問い合わせください。

*令和6年産から育苗センターにおいて「日本晴」の取扱いはいたしませんので、ご理解下さいますようお願いいたします。

令和5年産米出荷条件と奨励措置・施設の対応

◆ J A 米の規格 （全品種（飼料用米を除く）・概算金時に J A 米加算330円）

- ① J A があらかじめ定めた生産基準に沿って生産されたことを生産者の記帳・記録により確認しているお米。
- ② 銘柄が確認できる種粳を使用して生産されたお米。
（ J A または正規業者から購入した種粳を使用するか育苗センター利用で要件合致です。）
- ③ J A（登録検査機関）において検査を受けたお米。

※カントリー持ち込み奨励

- ① 農家が搬入する経費の一部を助成することを目的に、カントリーに持込する水稻生粳（全品種） 1 kg 当り 1 円（税込）助成します。
- ② 期間は、令和4年産から令和6年産までとさせていただきます。

「米」のインボイスへの対応について

令和5年10月から始まるインボイス制度において、**農協特例**を活用するため、**米の出荷名義と組合員名義については、同一名義になりますよう**ご協力をお願いいたします。

令和5年10月1日からは、消費税の本則課税の計算の際に **「仕入税額控除」をする**ためには、**「区分記載請求書等」に代わって、「適格請求書等（インボイス）の保存」が要件**となります。

これを **「適格請求書等保存方式（通称インボイス制度）」**と呼びます。

【区分記載請求書等保存方式】
令和元年10月1日開始

【現在】

【適格請求書等保存方式】
令和5年10月1日開始

通称「インボイス制度」と呼ぶ

区分記載請求書等保存方式

適格請求書等保存方式

区分記載請求書



適格請求書
(インボイス)



請求書でなくとも不特定多数を相手にする
小売業等の業種では領収書・レシートも
「適格簡易請求書（簡易インボイス）」
となります。



つまり、本則課税の事業者は、**令和5年10月1日以降は、保存すべき請求書等が変わる**ということだね！



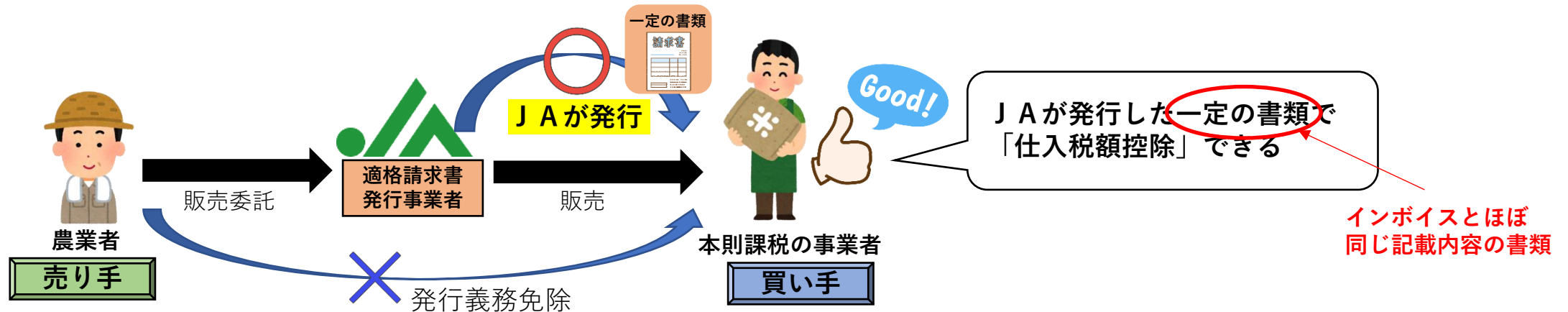
農協特例

J A へ販売委託した米は「無条件委託方式」かつ「共同計算方式」により販売されることが一般的です。

- ①無条件委託方式…売値、販売時期、販売先などの条件を付けないで委託する
- ②共同計算方式……一定期間における販売額を平均価格により精算する

この2つの要件を満たす委託販売の場合、売り手と、買い手が1対1で紐づかない取引になるので、売り手が買い手に適格請求書（インボイス）を発行することが困難です。

そのため、売り手（農業者）の適格請求書発行義務を免除し、J A が発行する一定の書類により買い手が「仕入税額控除」することを認めることとなっています。これが「農協特例」です。



令和5年産米 肥料高騰対策について

1. 肥料価格高騰対策（R5春肥）の活用

→ J Aで購入いただく肥料は、国が実施する支援金の交付手続きをJ Aがいたしますので、是非ご活用願います。

→ なお、この対策を申請いただいた場合、返品をすることはできないのでご注意願います。

※ R 4 年 6 月から 10 月に購入した秋肥

※ R 4 年 11 月から R 5 年 5 月に購入した春肥

2. 「化成肥料488」の活用

→ 過去の土壌分析結果を踏まえ短期的な P K 減肥による低価格肥料を活用。
(ただし、肥料価格情勢が改善されるまでの緊急的な対策)

慣行無機分施体系

コスト低減効果

【基肥】まかせな彩基肥（20-10-10） + 【穂肥】まかせな彩穂肥（22-2-10）



【基肥】化成肥料488（14-8-8） + 【穂肥】穂太郎L（15-2-12）

令和5年産米 肥料高騰対策について②

「化成肥料488」の活用

慣行無機分施体系（参考 コシヒカリ分施体系） 10aあたりの概算

※ただし、砂質土壌では、初期成育の確保のため追肥が必要になる可能性があります。

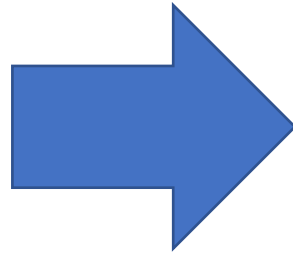
【基肥】まかせな彩基肥（20-10-10）20kg

+

マルチサポート1号

+

【穂肥】まかせな彩穂肥（22-2-10）20kg



約7.5%
のコスト低減
効果

【基肥】化成肥料488（14-8-8）30kg

+

マルチサポート1号

+

【穂肥】穂太郎L（15-2-12）30kg

令和4年産小麦（農林61号）の振り返り

4年産	区分	荷受重量	検査			合計	(t)
			1等	2等	規格外		1等比率
	小麦	1,361.4	929.00	66.00	77.52	1,072.52	86.60%
	総合計	1,361.4				1,072.52	

契約面積 (a)	41,541.0	反収 (k g)	258.7
----------	----------	----------	-------

3年産	区分	荷受重量	検査			合計	(t)
			1等	2等	規格外		1等比率
	小麦	1,145.4	703.00	209.00	96.20	1,008.20	69.70%
	総合計	1,145.4				1,008.20	

契約面積 (a)	39,943.0	反収 (k g)	252.4
----------	----------	----------	-------

令和4年産小麦（農林61号）の収量及び品質について

天候・生育

播種後	気温が高く日照時間が多く、莖数は平年より多く推移しました。
分けつ期	冬期は積雪が多く、一部湿害圃場がありました。
出穂開花期	出穂・開花期は平年より気温が高く、平年よりやや早まりました。 赤かび注意報が発令され2回防除の徹底を行っていただいた結果、品質確保につながりました。
収穫時期	5月の高温で早まっていた登熟はゆっくりとなり、収穫時期は平年並みでした。
収量	草丈は平年並みであり、莖数は少ないが1穂当りの粒数が多くついたことで、収量の向上につながりました。
品質	後期の肥効により品質向上につながったと考えています。

令和5年産小麦への対策について

びわほなみの栽培における重点事項

①排水溝の再点検

湿害に弱いので、降雨や積雪により圃場に雨水等が停滞することがないように、今一度、排水溝に溜まった土等取り除き、排水環境を整えましょう。

②穂肥施肥

適期に施用することにより穂数・粒数の向上に努め収量増加を目指しましょう。

穂肥の施肥時期につきましては、小麦栽培こよみを参考に2月上中旬に施肥します。

③雑草防除

高品質安定収量確保の観点から雑草防除は重要なものとなります。2月末～3月上旬にかけ、圃場内の雑草の発生状況を観察し、必要に応じた除草剤での防除を徹底しましょう。

④現地研修の実施

今後、中里町・小八木町・大清水町・妹町にて生産者様のご協力により現地研修会を開催しますので是非ご参加ください。

⑤赤かび防除の徹底

赤かび病対策のため、2回の防除を徹底して下さい。

報告（JA湖東特産関係）

愛東梨生産出荷組合

作付面積 829.1a 生産者29名 設立後40年経過

課題 品種転換と黒星病対策 新規就農者の確保

湖東苺生産出荷組合

作付面積 179a 生産者16名 世代交代・新規就農が多く若くパワーがある。

課題 直売所販売と市場出荷への調整 滋賀県新品種「みおしずく」への対応

愛東ぶどう生産出荷組合

作付面積 857.5a 生産者24名 世代交代・若者の新規就農がある。

課題 樹齢が高く生産力が減退、品種転換中、一層の新規就農者確保

湖東農協柿生産出荷組合

作付面積 62.6a 生産者5名

課題 生産者確保 害虫対策

ハウスメロン部会

作付面積 60a 生産者5名

課題 生産者確保 品質向上

湖東いちじく生産出荷組合

作付面積 84.6a 生産者8名

課題 生産者確保 技術・品質の向上

報告（あいとう直売館）

会員数215名

課題

- ・毎年新規会員の加入はあるものの、高齢による退会も増加しています。
- ・会員の確保に努めていますが、世代交代しての継続会員や若者の育成・確保につながっていません。
- ・商品については、昼からの農産物の品薄状態が続き来店者数が減少し、売上の伸びにつながっていません。

対策

- ・J A、直売館のホームページを活用し新規会員募集やイベント開催等の情報発信をします。
- ・新規会員の加入、若者の育成等の支援・高齢者が継続できる体制作りを進めます。
- ・消費者は直売所に地元産の新鮮な農産物や安さを求めて来店されることから「安全・安心・新鮮」でおいしい農産物や加工品を1年中提供でき、鮮度・品質が高く品揃えの良い直売所を目指します。

報告（湖東味咲館）

会員数78名（会員68・準会員10）

課題

- ・出荷品数の減少が、来店客の減少を招いている。
- ・時期によって出荷量の増減幅が多く品物のある時期とない時期の差が大きくなっています。
- ・販売単価の引き上げの検討 安売り合戦が発生し、互いの利益を阻害しています。

対策

- ・来客数を増加させるため、品目および出荷量の増大を目指します。
- ・現存の生産者の出荷品目・数量の拡大のため、栽培研修会や個別に営農指導を展開します。
- ・J Aホームページ等による情報発信やイベントを実施して集客数を増やして売上増を目指します。
- ・販売単価の引き上げについて会員へ啓発を行います。

あいとう直売館、湖東味咲館とも、新規会員様を募集しています。
営農販売課までお問い合わせください。

報告（飼料用米の収益性について）

カントリーエレベーター扱い

生産者数 18名

作付面積 1,723 a

カントリー荷受け 135,980 k g（平均持込水分25.8%）

検査数量 92,650 k g

フレコンバラ出荷扱い

生産者数 2名

作付面積 131 a

検査数量 5,254 k g

合計

生産者数 20名

作付面積 1,854 a

検査数量 97,904 k g

収入 10 a あたり

交付金額見込

※金額については、見込み数値で交付金額を保証するものではありません。

最大値97,683円～最小値55,000円 42,683円の幅

品代（税込）を含めると

※品代概算8.5円（税込）/ k g、60 k g で510円

最大値103,112円～最小値58,025円 45,087円の幅 （A）

経費 10 a あたり

※ J A の飼料用米栽培暦において採用している農薬・肥料に「かいどーくん」を追加し計算しています。

農薬費 5,469円 【除草剤+イモチ予防剤）

※価格は当用価格を参考。

肥料費 18,252円 【分施肥体系を参考】

合計 23,721円 （B）

利益（交付金に品代を含めた金額から経費合計を引いたもの）（A）－（B） 10 a あたり

79,391円～34,304円 45,087円の幅

カントリー利用料 10 a あたり
25.8% 25円（税込）/ k g
反収平均持込量 790 k g で計算すると 19,750円

報告（ペレット鶏ふん投入試験）

目的

地力の減退が進む中、堆肥の投入が、収量等に与える影響について生産者の皆様にわかりやすく、土づくりの重要性の理解促進を図る目的で実施しました。

試験区

管内5地区（旧支所単位）で実証圃を設置しました。

投入時期

春鋤前

生育経過

最高分けつ期付近である6月30日調査では、草丈・茎数・葉色の数値が同程度となっていました。

試験結果

成熟期調査では、稈長、穂長は同程度となり、慣行区の穂数が多くなりました。

今般、試験にご協力いただいた農家の皆様には大変申し訳ありませんでしたが、試験区の期待した収量増については、データ上、得ることはできませんでした。

春先に単年散布するだけでは、地力向上から収量増にはつながりませんでしたが、秋鋤時に鶏ふんを堆肥として投入することで地力向上へつながることは、期待できるので**秋鋤時の継続的な散布が重要**であることがわかりました。

報告（大豆栽培研修会の評価について）

目的

雑草による収量・品質の低下の改善。数量払いの交付金収入の向上。

大豆コンバイン収穫時に発生する汚染粒の防止。

内容

①播種時の丁寧な耕起と碎土、②播種後の土壌処理除草剤の使用、③中耕培土の適期の実施について、大豆雑草対策の重要性を確認しました。

経過

①戻り梅雨により、中耕培土が十分に行えませんでした。

②雑草対策を行っているにも関わらず、イヌホオズキなど難雑草が増加してきました。

改善への取組

播種遅れによって短茎になり収量が減る事を防止しましょう。

①雑草対策の重要性の認識向上 ②6月下旬適期播種の普及と開花期までの中耕培土の強化

③雑草情報などの発信

追加除草剤の活用

大豆バサグラン液剤や、アタックショット乳剤などの除草剤の活用を啓発して行きます。

報告（大豆栽培研修会の評価について）

雑草が多いほ場



きれいに管理されているほ場



滋賀県水稻新品種について

滋賀県は、「みどりの食料システム戦略」の減化学農薬・肥料低減を踏まえ、近江米新品種「滋賀83号」を開発し、現在名称を選定しています。

滋賀83号の特徴

- ①にこまる×滋賀69号
- ②中生の晩熟期（成熟期は「日本晴」とほぼ同じ）
- ③食味はコシヒカリと同等以上
- ④収量や玄米外観品質、耐倒伏性、高温登熟性に優れ、台風や高温条件下で安定生産が可能。

新品種の位置づけ（抜粋）

現在の環境こだわり栽培基準よりさらに化学農薬を削減、無化学肥料栽培（除草剤は使用可能であるが、殺虫・殺菌剤は原則使用しない）。オーガニック農業に取り組むきっかけとなる品種。

その他

生産者には諸要件が付されます。

J A 湖東農機具センターからのお知らせ

①農作業安全について

毎年、春（3～5月）、秋（9～10月）に重点期間を設定し、農作業事故防止に向けた運動が展開されています。実際、管内においても農作業中にトラクターやコンバインの横転事故が発生しています。焦らず基本に立ち返り安全作業をお願いします。

②労災保険への加入

J Aグループでは、事務組合を組織し、農家組合員の労災加入手続きを支援していますので、災害に備え加入をお薦めしています。（営農販売課まで）

③大型特殊免許（農耕車限定）取得について

全幅1.7mを超える作業機を装着し路上走行する場合は、道路運送車両法により大型特殊免許（農耕車限定）が必要ですので、取得をお願いします。

④農閑期の農機メンテナンスについて

タンクに残っているガソリンや混合油は抜き取り、グリスアップやオイル漏れのメンテナンスを行って下さい。また、バッテリーのマイナス端子を外してバッテリー上がりを防ぎましょう。

信用課からのお知らせ

**生産資材価格高騰等の
影響に伴う資金繰りの
ご対応にはJAの農業融資を
ご活用ください。**

令和5年3月31日お借入分まで

生産資材価格高騰等により、直接または間接的な被害を受けた農業者の方を対象に

運転資金の 実質金利 負担

の **0** ローン金利/年 %

(保証料全額助成、1,000万円以内・期間5年以内)

上記金利にてお借入いただける緊急支援対策を実施しております。
くわしくはお近くのJA窓口までお気軽にお問い合わせください。

**適用金利の
ご説明**

- 職業生活に直接するお借入が対象となります。
- 元金返済資金（返済額、物件売却や新型コロナウイルス感染症にかかる運転資金）／全額年0%
- 詳しくはJA窓口までお問い合わせください。（金利は年約4年10月3日現在）

 JAバンク滋賀

期間限定！
日頃の感謝を込めて...



冬の定期貯金

新規のご資金で定期貯金
 10万円以上 1,000万円未満(期間1年)
 お預け入れいただいた方に、特別金利でお預けいたします！



**期間
1年**

店頭

年 0.06%
(実効年0.0473%)

JA ネットバンク



年 0.08%
(実効年0.0637%)

募集期間／令和4年11月1日(火)～令和5年1月31日(火)

※お預けは個人の方のみとさせていただきます。

※特設金利の適用はお預け満額までとし、満額以上は普通預金利率が適用されます。

※特設金利適用される場合は、当JA淨貸の金利料金は0.0025%（店頭18.000%）※

※なお、当JAは、金利優待制度の適用により、一部店舗に金利優待を適用しています。

※本行は令和4年11月1日現在

JAネットバンキングのご
利用もお待ちしています。

共済課からのお知らせ

掛金は、3,880円です。

何台でも同じ共済掛金で、季節農業用自動車のリスクをカバー。

季節農業用自動車保障特約

所有・借用している保障対象の農業用自動車にかかる賠償責任と自損事故(傷害)を包括的に保障します。

保障の対象となるお車

自動車共済(主契約)



トラクター



軽トラック

など



特約



田植機



刈取脱穀作業車



農業用薬剤散布車



移植機



収穫機



摘採機

保障対象事故の例

記名被共済者や
その家族が
作業をしている
間の事故

記名被共済者や
その家族の
承諾を得て使用・
管理している
間の事故

ご自身の田植機

ご自身



ご自身が、ご自身の田植機で
作業した場合

お手伝い



ご自身が、ご自身の田植機で、別居
の親族に作業を手伝ってもらった
場合

借りた田植機

ご家族



ご自身の配偶者が、借りた田植機で
作業した場合

お手伝い



ご自身が、借りた田植機で、ご近所
の方に作業を手伝ってもらった場合

※保障の対象となるのは、所定の植付機、収穫機、農業用薬剤散布車に限ります。

人権啓発について

困ったことや人権侵害を見かけたら

人権相談窓口

検索

みんなの人権110番(全国共通人権相談ダイヤル)

ゼロゼロみんなのひゃくとおばん

📞0570-003-110

誰でも何でも

法務省の総合人権相談窓口です。
電話やインターネットから相談を受け付けています。

<https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken20.html> ▶



よりそいホットライン

ツ ナ グ サ サ エ ル

📞0120-279-338

誰でも何でも

家庭・学校・職場の悩みなど、さまざまな相談を受け付けている、誰でも利用できる窓口です。
セクシュアル・マイノリティの専門回線もあります。

<https://www.since2011.net/yorisoi/> ▶

※岩手・宮城・福島県からは、0120-279-226



総合労働相談コーナー(各都道府県労働局)

職場のトラブルに関するご相談や解決のために、
全国に379か所の窓口が設置されています。

労働者のために

<https://www.mhlw.go.jp/general/seido/chihou/kaiketu/soudan.html> ▶



女性の人権ホットライン(全国共通)

ゼロナナゼロのハートライン

📞0570-070-810

女性のために

女性の人権問題に詳しい法務局職員または
人権擁護委員が相談をお受けします。

<https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken108.html> ▶



児童相談所全国共通ダイヤル

いちはやく

📞189

子どもを守る

“子どもの人権110番”も
子どもが利用できる
ヘルプラインです。

“虐待かも”と思った時などに、
すぐ児童相談所に報告・相談ができる
全国共通の電話番号です。



外国語による人権相談

📞0570-090-911

外国人のために



英語や中国語をはじめとした
全10の外国語に対応しており、
相談リーフレットもダウンロードできます。

◀ <https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken21.html> ▶



J A湖東 公式LINEお友達大募集！！！！



登録は、いたって簡単です。

手順

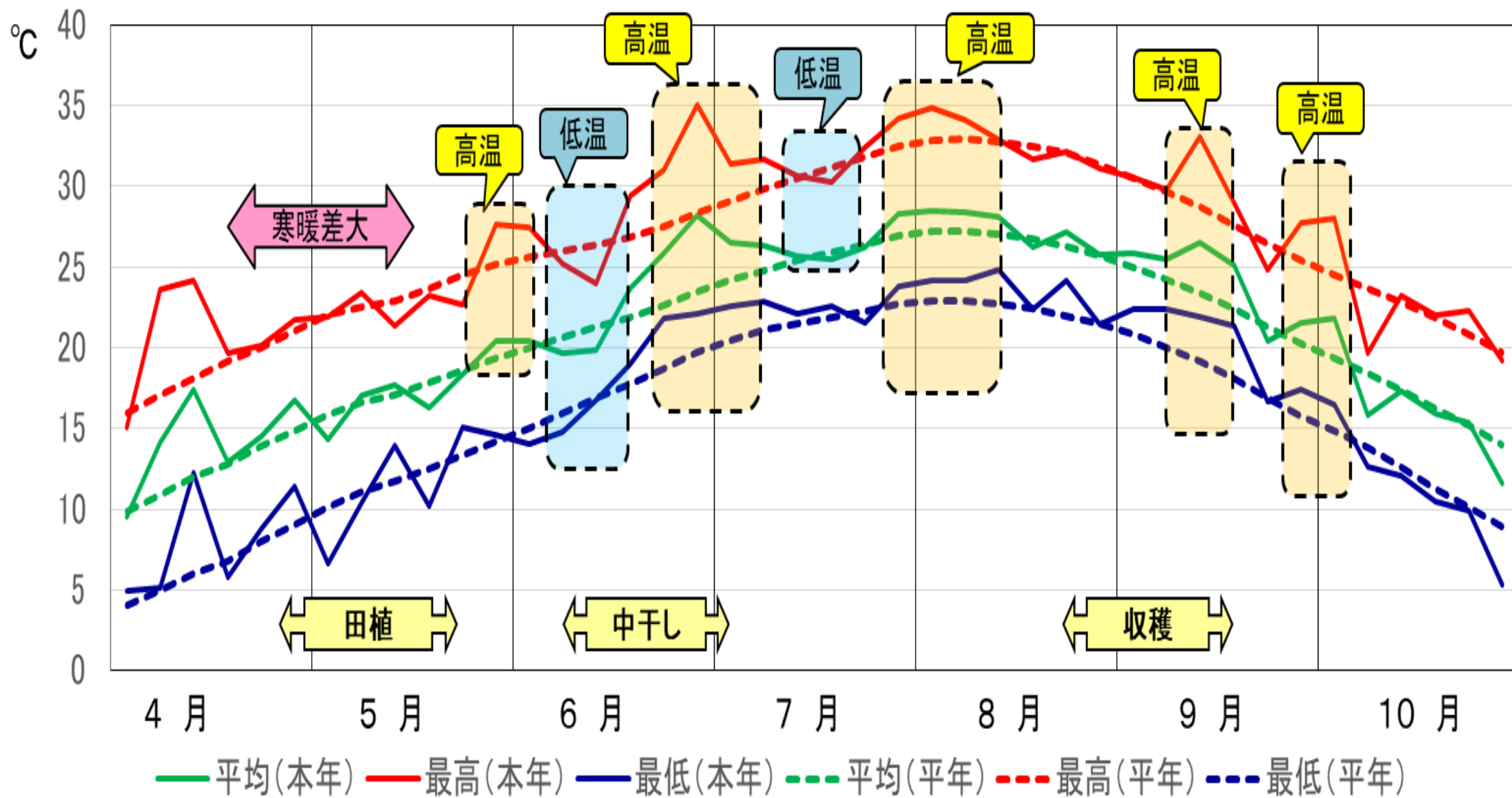
- ①スマートフォンのカメラQRコードリーダーで左のQRコードを読み取って下さい。
- ②友達追加ボタンをタップしてください。

以上で登録完了です！！

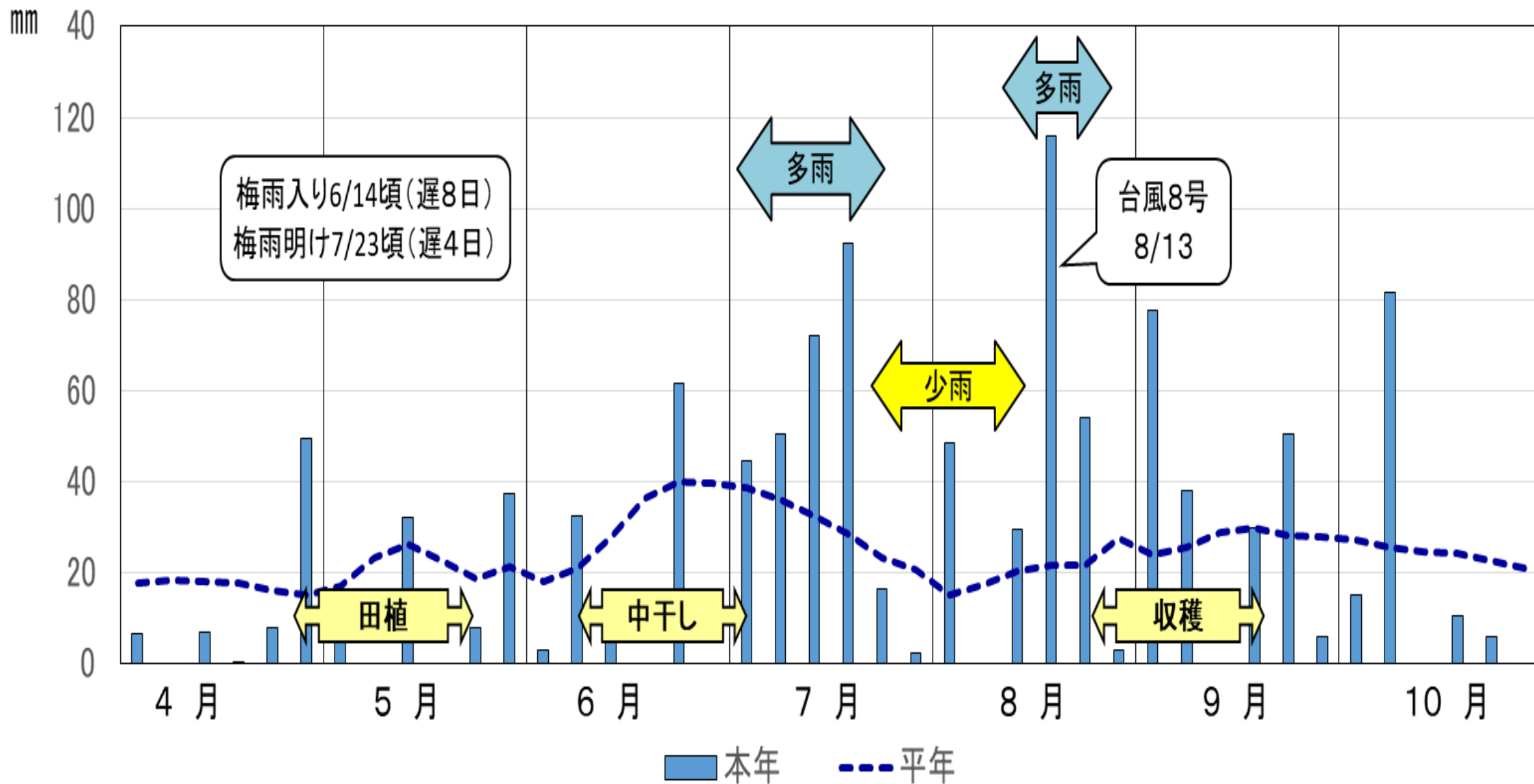
J Aからのタイムリーなお得情報や、営農情報を直接お届けします。

是非、この機会にご登録をお願いします。

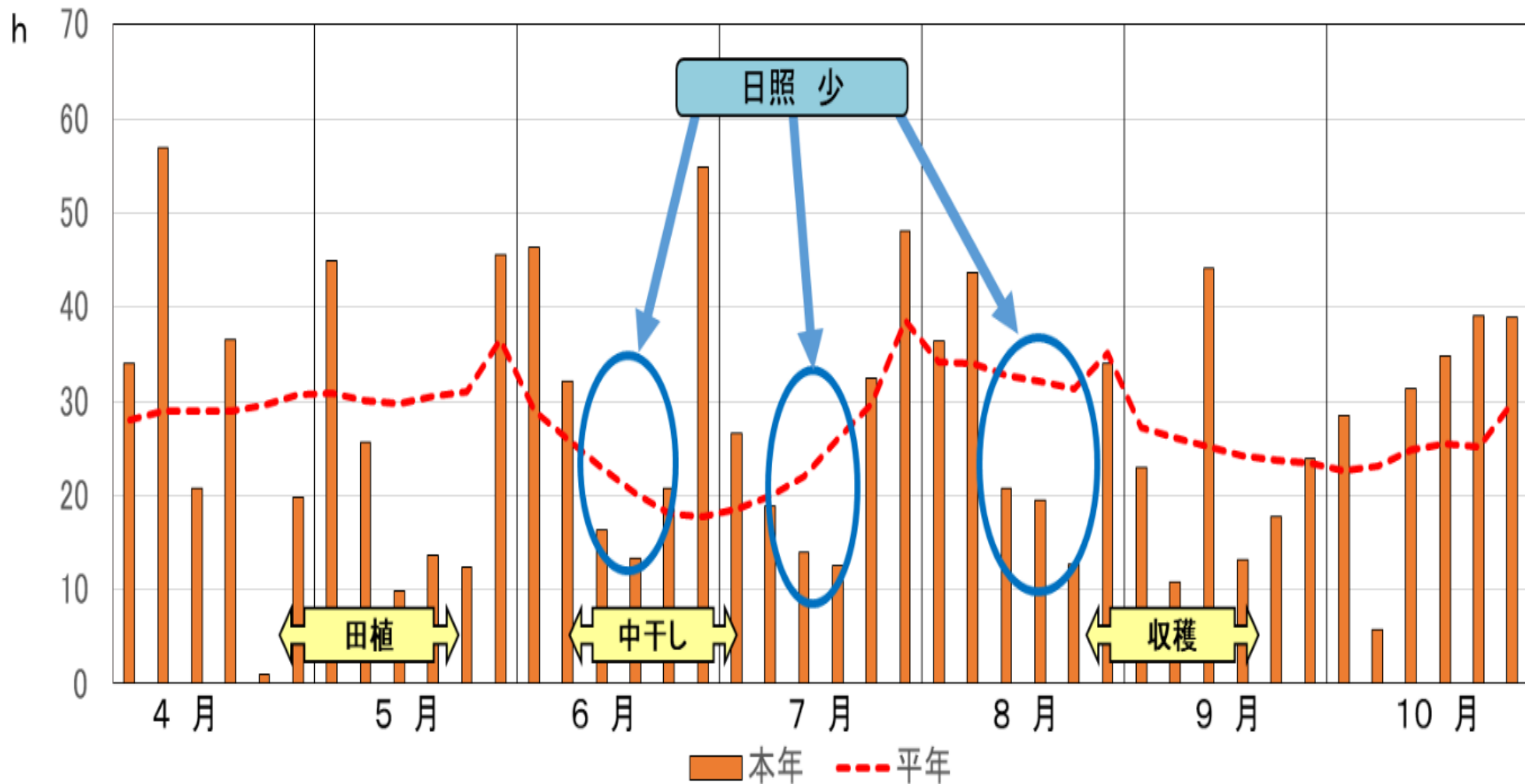
参考データ（気温）



参考データ（降水量）



参考データ（日照量）



参考資料（気象・生育概況）

1. 田植時期である4月下旬～5月上旬の気温差が激しく、強風の日も多かった。
2. 4月下旬のみずかがみ・秋の詩等の移植田植は、苗痛みや苗の活着遅れによる生育が停滞した状態が続いた事もあり、分けつが進まず茎数が少ない状況でした。
3. 転作跡ほ場は、田植後の藻類や表層剥離により地温が上がらず還元障害が発生。
4. 5月下旬から気温上昇と日照時間が多くなった事から生育も徐々に回復しました。
5. 6月上旬の気温が低く推移し、分けつが少なく6月10日過ぎから中干作業に入りました。
6. 6月中旬過ぎから気温が上昇したが、初期生育の遅れが取り戻せず茎数が平年に比べ少なく草丈は平年より長くなっていました。
7. 7月上旬と7月下旬から8月上旬に掛けて気温は高くなったが、曇天日も多く日照時間が大幅に少なく、コシヒカリやキヌヒカリでは、穂いもちの発生したほ場も見受けられました。
8. 8月中旬の激しい降雨によりコシヒカリが倒伏しました。
9. 収穫期については、みずかがみがやや遅れたが、コシヒカリ、キヌヒカリについては、平年並みの収穫期となりました。